

刊行にあたって

京都府立大学文学部歴史学科では、京都府下を中心にさまざまな地域をフィールドとして、歴史と文化遺産に対する調査研究を実施してきた。京都府域における調査研究の核となるのが本学の地域貢献型特別研究（ACTR）で、2023年度は、綾部市・京丹後市での調査を、そして京都府北部における文化庁・MALUI連携による地域づくりについての検討を進めた。また、京田辺市史および和束町史の編纂に係る調査事業についても引き続き取り組んでいる。これ以外にも教員・大学院生・学生によって京都府内外で調査が進められている。こうしたフィールド調査成果の概要を、歴史学科では『フィールド調査集報』として刊行しており、本書はその第10号にあたる。

歴史学科では、文献史学・考古学・地理学・文化情報学・建築史学といった分野から、フィールドに残る文書・建造物・石造物・遺跡・景観といった多様な文化遺産に焦点を当てた調査をおこなっている。さらに、博物館等での展示協力や、地域住民に対する報告会など、研究成果の活用・社会的還元についても、重視した活動を展開している。ともすれば、こうした調査は内部の報告書で終わりがちであり、また個別の教員の元でのみ成果が保管されがちであるが、歴史学科では年間の活動成果をまとめることで、調査活動およびその活用事例の公開・提示をおこない、研究・教育の成果の還元に努めている。

本書を通じて、歴史学科の活動と地域貢献の一端をご理解いただくことができれば幸いです。

編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
